

えほんのおたより

0 1 2 さいむけ

『えほんのおたより』とは
小さなお子様や保護者の皆様に向けた広報誌です。
図書館職員が選んだおすすめの本やサービスをご紹介します。

おすすめのえほん



『ごろんごゆきだるま』
たむら しげる // さく 福音館書店 // 出版
まるい雪の玉が、ごろんごごろんご雪だるまになっていきます。
ことばのリズムが良く、音を楽しめるので、赤ちゃんの読み聞かせにおすすめです。
絵は、作者自身で布を染め上げ、手縫いで仕上げられているようで、寒い季節に心温まる絵本となっています。

『ぶうぶうぶう』

おーなり 由子 // ぶん はた こうしろう // え 講談社 // 出版

1人でぶう、お母さんとぶう、その次は…

色々な「ぶうぶうぶう」が出てくるため、音を聞いてお子様が楽しめる作品になっています。絵本を開くと「ぶう！」。ページだけでなく表紙や裏表紙、そでのイラストもかわいいです。



『ちちんぷいぷい』

谷川 俊太郎 // ぶん 堀内 誠一 // え くもん出版 // 出版

「ちちんぷいぷい」この言葉をとなえると、ぼうしの中にかくれている何かが出てきて…

どうやら他にも秘密がありそう。

こどものころから、よく聞くおまじないをテーマにした絵本です。

どうぶつたちといっしょに、おまじないをとなえるのも楽しいですね。

『かぜビューン』

tupera tupera // さく Gakken // 出版

ソフトクリームやライオン、かぜがビューンとふくと…

くすりと笑ってしまうしかけ絵本です。

風がモノを飛ばすということが理解できる2歳頃～おすすめです。

お子さんとのお出かけ時にも、かぜビューンと一緒に楽しめるので、ぜひ寒い季節に読んでいただきたい一冊です。



育児本 おすすめ



『1日15分の読み聞かせが本当に頭のいい子を育てる』

齋藤 孝 // 著 マガジンハウス // 出版

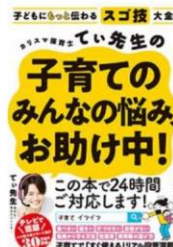
本当の頭の良さとは？生きるために必要な力とは？

子どもにとって大切なことを解説しながら、読み聞かせがなぜ大切なのか、絵本が子どもに与える影響について説明しています。

『カリスマ保育士てい先生の子育てのみんなの悩み、お助け中!子どもにもっと伝わるスゴ技大全』

てい先生 // 著 ダイヤモンド社 // 出版

保護者が子どもとの生活上でおこる悩みに対し、てい先生が子どもの視点に立った考え方による解決方法を解説しています。子どもはそういうことを考えているのかと、はっとさせられます。



『小児科医のぼくが伝えたい最高の子育て』

高橋 孝雄 // 著 マガジンハウス // 出版

子どもが持っている、それぞれの性質はお父さんやお母さんから受け継いだ大切なものです。急に才能が開花したのではなく、もともと持っていたものがあるタイミングで花開いたということ。そのタイミングが来るまでは温かく見守ってほしいという著者の願いが込められています。

図書館のイベント

(今後内容等が変更になる可能性もございます)

はじめての工作教室

開催日 毎月第2月曜日

時間 11:00~11:30

場所 富津市立図書館内 おはなしのへや

定員 先着6組



令和6年1月
「辰年手形アート」

はじめてのおはなし会

絵本のよみきかせ・わらべ歌・手遊びを盛り込んだおはなし会です♪

開催日 毎月第1・3月曜日

時間 11:00~11:15

場所 富津市立図書館内 おはなしのへや



おはなしかいでお待ちしています♪



開館時間

10:00~20:00

休館日

毎月最終月曜日

年末年始(12月31日~1月2日)

特別整理期間(2月1日~2月9日)

電話番号

0439-29-7514

図書館ホームページ



富津市立図書館
Futtsu City Library

2024年2月発行

